

1. 題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2. 学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3. 文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
4. 文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

美しい自然であふれている島  
 岳南中学校 一年 小野 望心  
 私が住んでいる屋久島は自然であふれて  
 います。その中でもおすすめな屋久島の自然  
 が、二つあります。  
 一つ目は、大川の滝です。この滝は、栗生  
 にあり、九州一落差八十八メートルと言われ  
 ています。それに日本の滝百選に選ばれてい  
 るのです。私は、小さい頃こころからよく大川の滝  
 に行っていました。いつ行ってもずっと変わら  
 ず綺麗きれいです。夏には、大川おおこの滝たきに来たら滝の  
 近くまで行ってみんな水しぶきを浴びていま  
 す。私の場合は、水をさわって、その後、水  
 しぶきが一番すごい、少し滝からはなれたと  
 ころに行きます。観光客の方々は、  
 「涼しい」  
 と言っています。少し岩がゴツゴツしていて  
 通りにくいというデメリットもあります。で  
 すか、頑張ったごほうびに水しぶきを浴びる  
 ことができるというメリットもありとてもい

(不許複製)

5. 読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6. 人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
7. 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
8. 書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことをおきない、むだなことをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

い です。と ても お す す め で す。心 も 体 も リ フ  
 レ ッ シ ュ し た ま っ て い た 疲 れ も 吹 き 飛 ん で  
 い っ て し ま う か も で す。他 に も 自 然 っ と い う だ  
 け の 良 い と こ ろ だ け で は な く、車 い す の 方 な  
 ど で も 通 り や す い よ う に、バ リ ア フ リー 設 計  
 さ れ た 道 が あ り ま す。滝 っ ぼ の 近 く ま で は、  
 バ リ ア フ リー 設 計 が さ れ て い ま せ ん が、少 し  
 で も 近 く に 行 け る の で と ても 良 い で す。私 が  
 一 番 好 き な 大 川 の 滝 の 景 色 は、虹 が か か っ て  
 見 え る と こ ろ で す。光 の 角 度 に よ り ま す が、

中学校

と ても 素 敵 で す。素 敵 す ぎ て、ま た も う 一 回  
 行 き た い っ と 感 じ ま す。せ び っ い や、絶 対 行  
 っ て く だ さ い。見 と れ て し ま い ま す。で も、  
 天 気 が い い と き に 行 っ た 方 が い い で す よ。な  
 ぜ な ら、明 る く て、き れ い な 空 と 大 川 の 滝 が  
 と っ て も き れ い で す。お し や 水 な 写 真 が と れ  
 ま す。と り あ え ず 行 っ て み て、感 じ て き て み  
 て く だ さ い。  
 ニ っ 目 に お す す め し た い の は、白 谷 雲 水 峡  
 です。宮 元 浦 に あ り、緑 豊 か で T H E 屋 久 島

(不許複製)

- 5、読みやすいように、「と」とをしっかりとつけましょう。「と」とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはおきない、むだなことはをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

と、感じられます。私は、小さい頃に一度だけ友達と一緒に来たことがあります。記憶はあやふやですが一番印象に残っていることがあります。それは、橋があったことです。ユラユラゆれて怖かったので父にかたぐるまをしてもらった記憶があります。それに、けが多かったことも覚えています。屋久島ならではのこのけでうめつくされていて、空気もよく水もきれいです。頂上のようなところまで行くのに時間がかかって忙しいですが、登り

中学校

ながら見る景色に魅了されます。美しい自然、これを一目見るだけでいやされます。行けるならもう一度行きたいと思える場所です。小さい子供を連れてでも行けるのでおすすめです。ここも、ぜひ、いや、もう必ず行ってみてください。屋久島の自然は、美しくても素敵です。今、紹介した自然以外にもいっぱいありますよ。こんなに美しい自然の島に住めたい、ということかとても誇らしいと思います。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たらないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。

